

令和3年12月吉日

第139号 文京稲門会 会員の皆様へ

10月のお散歩会は、雨の中参加者2名でしたが、11月は天気も良く、4名の参加で行われました。また、校友会ゴルフにも、文京稲門会から2名が参加しました。少しずつ、色々なことが始まってします。12月には定例会、来年1月には新年会もリアルに行く予定です。第6波を起こさないよう注意しながら、元気を取り戻しましょう。

記

1. これまでのご報告

(1) 11月10日 第12回 早稲田大学校友会ゴルフ大会

文京稲門会の参加者は2名で、シンガポール稲門会の方と一緒にラウンドしてきました。今回はコロナ対策でパーティは無し、楽しくゴルフをするだけの大会でした。多数の方々とお話することはできませんでしたが、シンガポールの方と色々とお話をしました。中で印象的だったのは、「シンガポールでは罰金があるので、街中ではマスクをしているが、罰金がない所では外して暮らしている。日本に帰ったら、罰金も無いのに皆マスクをしている。日本人ってすごいな。」でした。また、私自身、20年前はシンガポールでも仕事をしていたので、最近のシンガポール事情を聞いて、楽しい時間を過ごせました。また、2月のシンガポール稲門会のゴルフコンペにも誘っていただきました。ご興味のある方は連絡ください。（注：シンガポール稲門会“日本支部”でのコンペなので、日本のゴルフ場です。） （清原保）



中央の2名が文京稲門会、両端の大男2名がシンガポール稲門会

(2) 11月21日(日)お散歩会

11月21日、深大寺の秘仏「鬼大師」が、205年ぶりの公開だということで見に行きました。深大寺は、平安時代の僧・比叡山延暦寺第十八代天台座主・慈恵大師・良源(元三大師)の座像を奉安していますが、50年に一度の本開帳の掟を破り、上野の国立博物館で臨時開帳されました。(10月のお散歩会で見学)

平安の昔に元三大師が疫病神を退散したことから、コロナ禍でのご利益が注目されたからでもありました。深大寺では、その胎内仏「鬼大師」が205年ぶりに特別公開されることになったのです。鬼大師は、1816年に、両国の回向院で元三大師像と共に開帳された時以来、二重の厨子に収められたまま、今日まで扉を開けない秘仏として祭られて来たのです。疫病退散に当たって、元三大師が姿を変えたのが鬼大師だと言われ、わずか15センチほどの黒光りした木像です。

コロナが落ち着きを見せ、境内はにぎわって、深大寺そばの店には、長蛇の列ができていました。今回の特別開帳を記念して、深大寺に伝わる古版木を使って、江戸時代から七代続く摺師が大判の復刻札を摺り上げたというので、一枚二千円の御札を手に入れようとしたのですが、「売り切れ」でした。文化財保護のため、摺り増しはしないとの情報で残念なことでした。参加者は4名。参観には2時間ほど並びましたが、久しぶりの懇親会を楽しみに、「205年も待ったのだから、2時間くらいなんでもない」と、色づき始めた紅葉や、庭園の句碑や鯉を鑑賞して順番を待ちました。



(3) 11月23日(火)ラグビー早慶戦

11月23日、ラグビー関東大学対抗戦での早慶戦は、40対33で勝利しました。秩父宮ラグビー場での観戦に、文京稲門会からは4名が参加しました。

試合は序盤から主導権を握り、前半6分に佐藤健次選手が先制のトライを奪うと、その後もスピードと判断力で、前半だけで5つのトライを決め、35対5と大きくリードしました。後半は、慶応の猛追で4つのトライを奪われましたが、宮尾昌典選手のトライでリードを守りきって伝統の一戦を制し、早慶戦の対戦成績は71勝20敗7引き分けとなりました。ただし、会場は慶応の追い上げに観客が湧き立ち、「勝ったのに負けた気分だ。」という感想も聞かれました。ラグビーの関東大学対抗戦は帝京大がここまで6戦全勝で勝ち点27で首位。優勝争いは5勝1敗で勝ち点26の明治大と5勝1敗で勝ち点24の早稲田大の3校に絞られました。次は12月5日の早明戦ですが、チケットを手に入れるのが非常に困難でした。



2. 今後の行事

(1) 12月20日(月) 19:00~21:00 定期懇談会(於 東京ドームホテル)

東京ドームホテル6階「バー2000」で、毎月開催していた定期懇談会は、コロナ禍で中止しておりましたが、今月から再開します。会費は、超特別価格の4,000円となります。

参加を希望される方は、下記のいずれかの方法で、12月18日（土）までにお申込下さい。

- ①会員全員のメーリングリストに流すサイトから申し込む。
- ②担当の筆谷まで、メールで申し込む。
- ③担当の筆谷の携帯電話に、電話で申し込む。

お店のコロナ対策の関係で、お席に制約がありますので、事前に必ずお申込の上、お越し下さい。東京ドームシティでは、現在、イルミネーションが綺麗です。東京ドームホテル6階「バー2000」から眺めながら、お酒を飲んで来年を語りましょう。



(2) 12月22日(水) お散歩会 旧安田楠雄邸庭園の見学と鷗外記念館の見学

集合：千代田線「千駄木」駅1番出口（地上） 14:00

旧安田楠雄邸庭園は築101年目とか、庭の紅葉が、今（12月上旬）が最高。2階の畳の部屋で、のんびりお庭を眺めませんか。



HPから

邸宅と庭園は、「豊島園」の創始者である実業家、藤田好三郎（ふじたよしさぶろう）によって1919～1920年に造られました。関東大震災後、旧安田財閥の創始者・安田善次郎の女婿である安田善四郎が、藤田家からこのお屋敷を買い

取り、安田家の所有となりました。そして1995年、当主の楠雄氏が他界した後、夫人により公益財団法人日本ナショナルトラスト（JNT）に寄贈され、現在に至ります。

(3) 2022年1月29日(土) 18時から(予定) 新年会

来年の新年会を、東京ドームシティ内の中華レストラン「後樂園飯店」(東京都文京区後楽1-3-61 TEL 03-3817-6134)での開催を予定しております。

まだコロナ禍の非常事態宣言が解除されたばかりで、役員一同の様な形態で開催出来るのかを、手探りで検討しています。2年ぶりに再開できる楽しい会にしたいと思っています。

皆様ご多用中のことと存じますが、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

文京稲門会 役員一同

会長	筆谷 敏正(S 6 1 文学)
副会長	清原 保 (S 4 8 理工)
	三石 由起子(S 5 6 文学)
	田上 睦美(H 0 3 法学)
	高橋 恵子(H 0 8 社会学)
	大谷 龍生(H 1 8 商学)
幹事長	谷口 和彦(H 0 3 文学)
副幹事長	依田 秀之(H 0 6 人科)
	廣野 正治(H 1 2 政経)
幹事	河合 早苗(S 5 0 政経)
	沼野 藤仁(H 0 3 理工)

(文京稲門会ホームページ : <http://bunkyo-toumon.info/>)

以 上